

## D ドライブライン / アクスル

### FFD フロントファイナルドライブ

作業上の注意 .....	2	フロントファイナルドライブ ASSY .....	10
・注意 .....	2	・取り外し、取り付け .....	10
準備品 .....	3	・フロントファイナルドライブブリーザー	
・特殊工具 .....	3	ホース .....	11
オイル .....	5	・分解図 .....	12
・交換 .....	5	・分解前の点検 .....	13
・点検 .....	6	・分解、組み立て .....	15
フロントファイナルドライブシステム .....	7	サービスデータ .....	34
・構造断面図 .....	7	・ドライブギヤ振れ .....	34
フロントオイルシール .....	8	・サイドギヤクリアランス調整 .....	34
・取り外し、取り付け .....	8	・ドライブピニオンハイト調整 .....	34
サイドオイルシール .....	9	・サイドベアリングプリロード調整 .....	34
・取り外し、取り付け .....	9	・トータルプリロード調整 .....	35

A

B

C

FFD

E

F

G

H

I

J

K

L

### 作業上の注意 注意

PPF:00001

JDS002CA

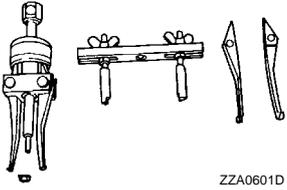
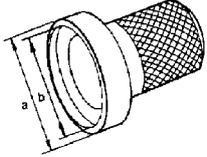
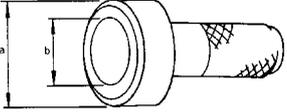
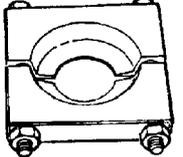
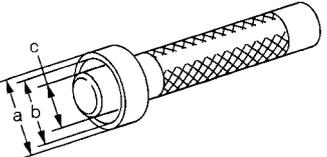
- 整備車両の故障現象を十分把握した上で故障診断を確実にいき、系統だてた正しい作業を行う。
- 取り外し又は分解作業をする場合、あらかじめ正規の取付状態を確認しておく。必要に応じて機能に影響のない部位に合いマークを付ける。
- 分解作業は清潔な場所で行い、できれば防じん室での作業が望ましい。
- 分解前にスチーム、ホワイトガソリンなどでユニット外部に付着している砂及び泥などをよく洗浄し、分解及び組み付け時に内部に入らないようにする。
- 分解した各部品は必ず外観に損傷、変形、異常摩耗がないことを確認し、不具合がある場合は新品と交換する。
- ロックピン、オイルシール、ベアリングは原則として分解ごとに新品と交換する。
- 部品を交換する場合は、日産純正品を使用する。
- ボルト、ナットの締め付けは、原則として中心より外側に対角線方向へ 2 ~ 3 回に分けて徐々に締め付け、特に順序を規定している箇所はその指示に従う。
- 各部品は十分に洗浄、清掃しエアブローをする。
- しゅう動面、合わせ面には傷を付けないよう注意する。
- シール剤を塗布面及び取り付け面に付着した水分、油分、異物などは除去すること。
- 内部の構成部品の洗浄は必ずペーパーウエスを使用する。
- 綿手袋及びウエスなどは糸クズの混入防止のため使用しないこと。
- 組み付け時は規定トルクを遵守し、各部品には必ず車両毎に指定された新しいニッサンデフオイル又はワセリン、ニッサン MP スペシャルグリース No.2 を塗布しながら行う。
- 抜き取ったオイルは使用しないこと。また、オイル交換後の廃油、部品の洗浄油などは、法令、条例などで定められた方法により処理すること。

準備品

準備品  
特殊工具

PF:00002

JDS002CB

名称	用途
<p>オイルシールプーラー ST3329 0001</p>  <p style="text-align: right;">ZZA0601D</p>	<p>ファイナルドライブオイルシール取り外し</p>
<p>ドリフト ST3340 0001 a : 60mm b : 47mm</p>  <p style="text-align: right;">ZZA0702D</p>	<p>ファイナルドライブオイルシール及びダストシールド取り付け</p>
<p>ドリフト KV381 00500 ST302 0000 A : 77mm B : 55mm</p>  <p style="text-align: right;">ZZA0811D</p>	<p>ドライブピニオンオイルシール取り付け、サイドシャフトオイルシール取り付け（リテーナー側）</p>
<p>アウターレースプーラー ST3329 0001</p>  <p style="text-align: right;">SDIA0260J</p>	<p>サイドベアリングアウターレース取り外し、サイドオイルシール取り外し</p>
<p>プーラーセット ST3306 S001</p>  <p style="text-align: right;">SDIA0215J</p>	<p>サイドベアリング取り外し</p>
<p>プーラー ST3003 1000</p>  <p style="text-align: right;">ZZA0700D</p>	<p>ドライブピニオンベアリング取り外し</p>
<p>ドリフト ST3323 0000 a : 51mm b : 41mm c : 28mm</p>  <p style="text-align: right;">ZZA1046D</p>	<p>サイドベアリング取り付け</p>

A

B

C

FFD

E

F

G

H

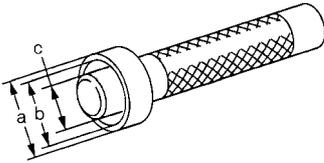
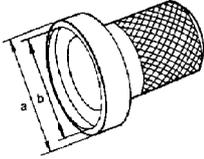
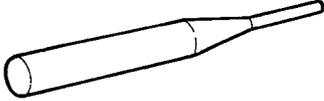
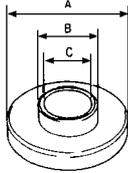
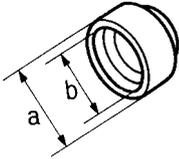
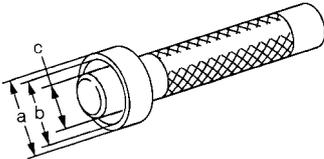
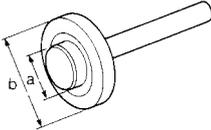
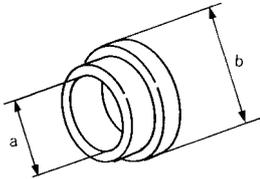
I

J

K

L

## 準備品

名称	用途
<p>ドリフト ST3322 0000 a : 32mm b : 31.5mm c : 21mm</p>  <p style="text-align: right;">ZZA1046D</p>	<p>サイドシャフトベアリング取り外し</p>
<p>ドリフト ST3340 0001 a : 60mm b : 47mm</p>  <p style="text-align: right;">ZZA0702D</p>	<p>サイドシャフトベアリング取り付け、 サイドオイルシール取り付け（リテーナー側）</p>
<p>ピンポンチ KV311 00300</p>  <p style="text-align: right;">ZZA0515D</p>	<p>ピニオンメートシャフトロックピン脱着</p>
<p>インナーレースアダプター ST3003 2000 A : 80mm B : 38mm C : 31mm</p>  <p style="text-align: right;">SDIA0217J</p>	<p>ドライブピニオンベアリング取り付け、 サイドシャフトとリテーナー取り付け</p>
<p>ドリフト KV381 02510 a : <math>\phi 71</math>mm b : <math>\phi 65</math>mm</p>  <p style="text-align: right;">ZZA0838D</p>	<p>フロントオイルシール取り付け</p>
<p>ドリフト ST3321 0000 a : <math>\phi 44</math>mm b : <math>\phi 34.5</math>mm c : <math>\phi 22</math>mm</p>  <p style="text-align: right;">ZZA1046D</p>	<p>サイドオイルシール取り付け</p>
<p>ドリフト ST3782 0000 a : 39mm b : 72mm</p>  <p style="text-align: right;">ZZA0836D</p>	<p>ドライブピニオンベアリング取り付け</p>
<p>ドリフト KV311 03000 a : 49mm b : 70mm</p>  <p style="text-align: right;">ZZA1113D</p>	<p>サイドベアリング取り付け</p>

オイル  
交換

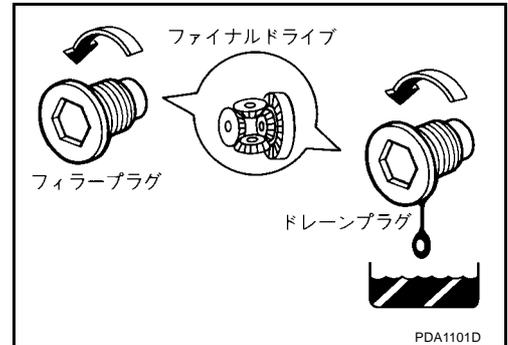
PF0:00024

JDS002CC

交換時期

- 自家用 : 分解整備時にのみ給油  
(シビアコンディション時: 60,000km ごと)
- 事業用 : 100,000km 又は 2年ごとのどちらか早い方

参考: シビアコンディション時とは、厳しい条件での走行(悪路、山道、登降坂道)が走行距離の30%以上の場合に該当する。



抜き

- ドレーンプラグを外し、デフオイルを抜き取る。  
参考: フィラープラグを先に外すとデフオイルの抜けが良い。
- ドレーンプラグにシール剤(スリーボンド 1215)を塗布し、ファイナルドライブに取り付け、規定トルクで締め付ける。  
**注意:** ドレーンプラグのガスケットは再使用不可部品のため、再使用しないこと。

締め付トルク : 30 ~ 39N-m { 3.0 ~ 4.0(kg-m) }

注入

- フィラープラグを外し、新品のデフオイルを給油する。

使用オイル : ニッサンデフオイルハイポイドスーパー GL-5 80W-90

オイル量 : 約 0.65 ㍓

- フィラープラグをファイナルドライブに取り付け、規定トルクで締め付ける。

**注意:** フィラープラグのガスケットは再使用不可部品のため、再使用しないこと。

締め付トルク : 30 ~ 39N-m { 3.0 ~ 4.0kg-m }

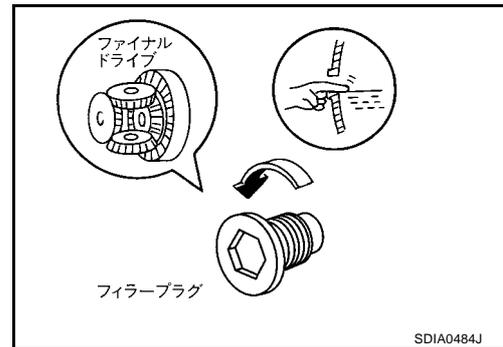
## 点検

JDS002CD

### 液漏れ及び油面高さ

1. 漏れがないか、油面高さは適切か点検する。
2. フィラープラグにシール剤（スリーボンド 1215）を塗布し、ファイナルドライブに取り付け、規定トルクで締め付ける。

締付トルク : 30 ~ 39N-m { 3.0 ~ 4.0kg-m }



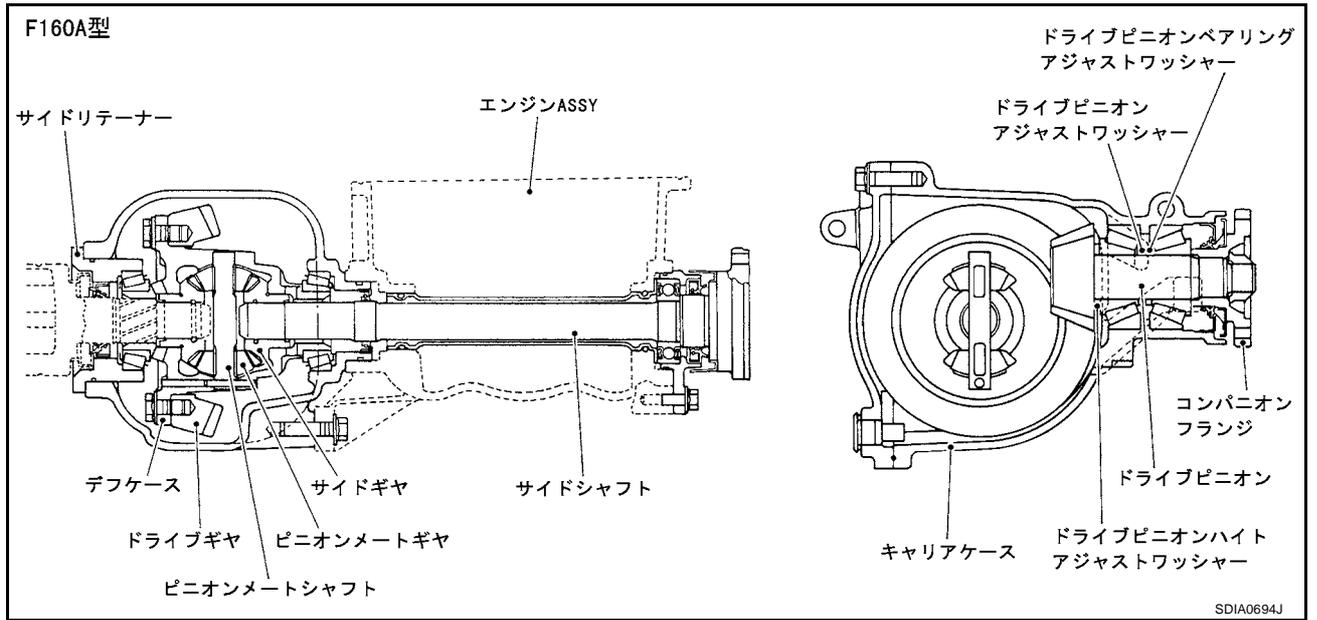
# フロントファイナルドライブシステム

## フロントファイナルドライブシステム

PF3:38500

### 構造断面図

JDS002CE



A

B

C

E

F

G

H

I

J

K

L

フロントオイルシール

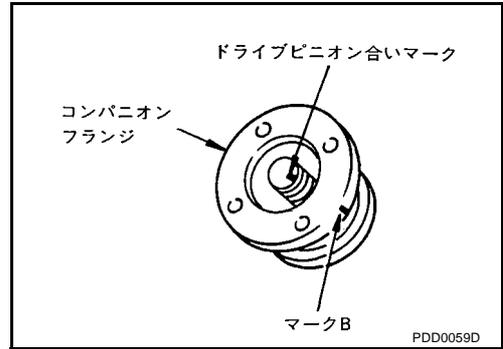
PFP:38189

取り外し、取り付け

JDS002CF

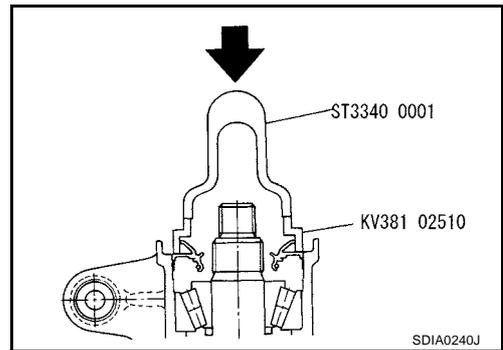
取り外し

1. フロントプロペラシャフトを取り外す。「[取り外し、取り付け](#)」(PR-2ページ)を参照のこと。
2. ファイナルドライブコンパニオンフランジマーク B 位置に合わせて、ドライブピニオンのネジ部先端に合いマークを付ける。  
**注意:** 合いマークはペイントなどを使用し、傷を付けないこと。  
**参考:** マーク B は、コンパニオンフランジインローが回転中心に対して外側に振れる最大位置
3. デフフランジツール(汎用工具)を用いて、ドライブピニオンナットを取り外す。
4. ブーラー(汎用工具)を用いて、コンパニオンフランジを取り外す。
5. オイルシールブーラー(特殊工具)を用いて、オイルシールを取り外す。



取り付け

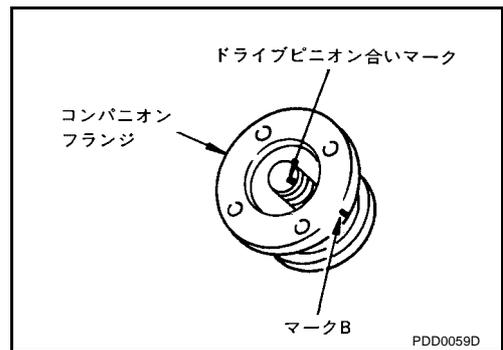
1. オイルシールのリップ部にニッサン MP スペシャルグリース No.2 を塗布し、図のようにドリフト(特殊工具)を用いて、ケース端面と面となるようにオイルシールを取り付ける。  
**注意:**
  - オイルシールは傾かないように取り付けること。
  - オイルシールは再使用不可部品のため、再使用しないこと。



2. コンパニオンフランジの合いマーク B とドライブピニオンの合いマークを合わせてコンパニオンフランジを取り付ける。
3. ドライブピニオンのネジ部及びピニオンナット座面に防せい油を塗り、ピニオンナットを取り付け、デフフランジツール(汎用工具)を用いて、規定トルクで締め付ける。

締付トルク (N·m{kg·m}) : 127.4 ~ 245.0 { 13.0 ~ 25.0 }

**注意:** コンパニオンフランジナットは再使用不可部品のため、再使用しないこと。



4. フロントプロペラシャフトを取り付ける。「[取り外し、取り付け](#)」(PR-2ページ)を参照のこと。

サイドオイルシール

PF3:38343

取り外し、取り付け

JDS002CG

取り外し

右側

1. 車輪回転センサーを取り外す。
2. フロントドライブシャフトを取り外す。「FAX フロントアクスル・ドライブシャフト」「フロントドライブシャフト」「[取り外し、取り付け](#)」(FAX-13 ページ) を参照のこと。
3. オイルシールプラー（特殊工具）を用いて、オイルシールを取り外す。

左側

1. サイドシャフト ASSY を取り外す。
2. フロントファイナルドライブ ASSY を車両より取り外す。「FAX フロントアクスル・ドライブシャフト」「フロントファイナルドライブ ASSY」「[取り外し、取り付け](#)」(FFD-10 ページ) を参照すること。
3. オイルシールプラー（特殊工具）を用いて、オイルシールを取り外す。

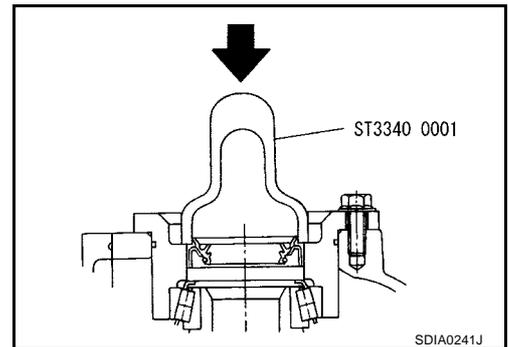
取り付け

右側

1. オイルシールのリップ部にニッサン MP スペシャルグリース No.2 を塗布し、図のようにドリフト（特殊工具）を用いてオイルシールを取り付ける。

**注意：**・ オイルシールは傾かないように取り付けること。  
 ・ オイルシールは再使用不可部品のため、再使用しないこと。

2. フロントドライブシャフトを取り付ける。「FAX フロントアクスル・ドライブシャフト」「フロントドライブシャフト」「[取り外し、取り付け](#)」(FAX-13 ページ) を参照のこと。



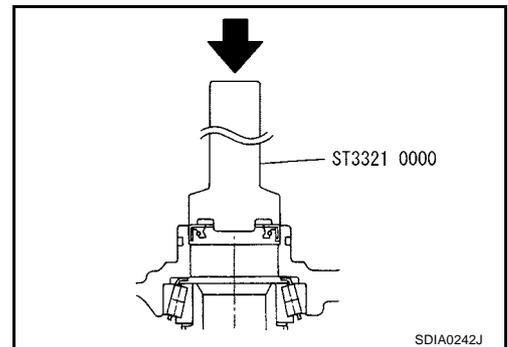
左側

1. オイルシールのリップ部にニッサン MP スペシャルグリース No.2 を塗布する。

2. ドリフト（特殊工具）を用いて、ケース端面と面一になるようにオイルシールを取り付ける。

**注意：**・ オイルシールは傾かないように取り付けること。  
 ・ オイルシールは再使用不可部品のため、再使用しないこと。

3. フロントファイナルドライブ ASSY を車両へ取り付ける。

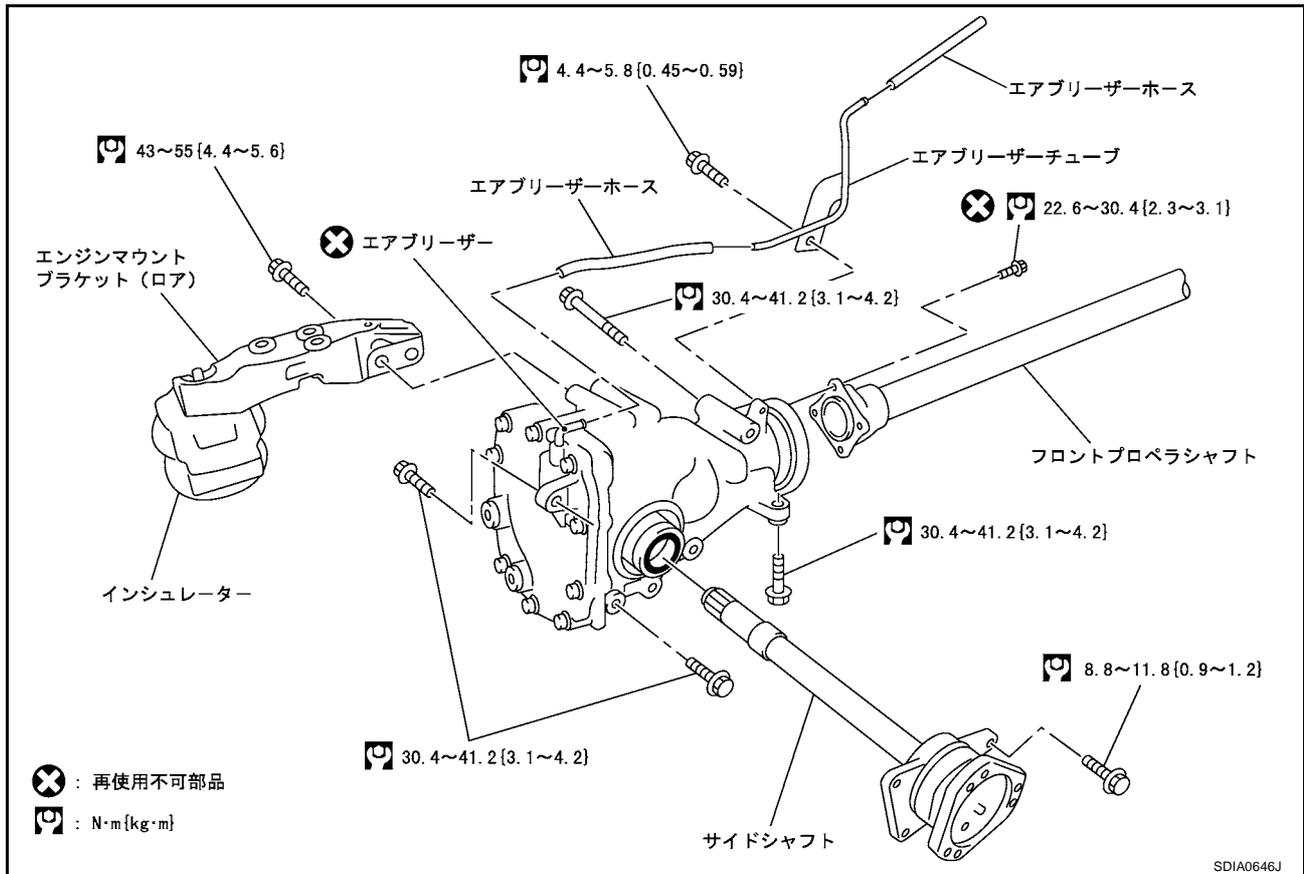


フロントファイナルドライブ ASSY

PFP:38500

取り外し、取り付け

JDS002CH



取り外し

1. エンジンマウントブラケット上部ボルト (3本) を取り外す。
2. 触媒コンバータ (右バンク) を取り外す。
3. スタビライザー ASSY を取り外す。[「取り外し、取り付け」\(FSU-11 ページ\)](#) を参照すること。
4. パワーステアリングギヤ取付ボルト (2本) ラックマウントブラケット (2本) を取り外す。
5. フロントドライブシャフトを取り外す。[「フロントドライブシャフト」\(FAX-13 ページ\)](#) を参照すること。
6. サイドシャフト ASSY を取り外す。
7. フロントサスペンションメンバーを取り外す。[「フロントサスペンションメンバー」\(FSU-12 ページ\)](#) を参照すること。
8. フロントプロペラシャフトを取り外す。[「取り外し、取り付け」\(PR-2 ページ\)](#) を参照すること。
9. リヤエンジンマウントを取り付ける。
10. エアブリーザーホースを取り外す。
11. 取付ボルト (6本) を取り外し、フロントファイナルドライブ ASSY を車両より取り外す。

取り付け

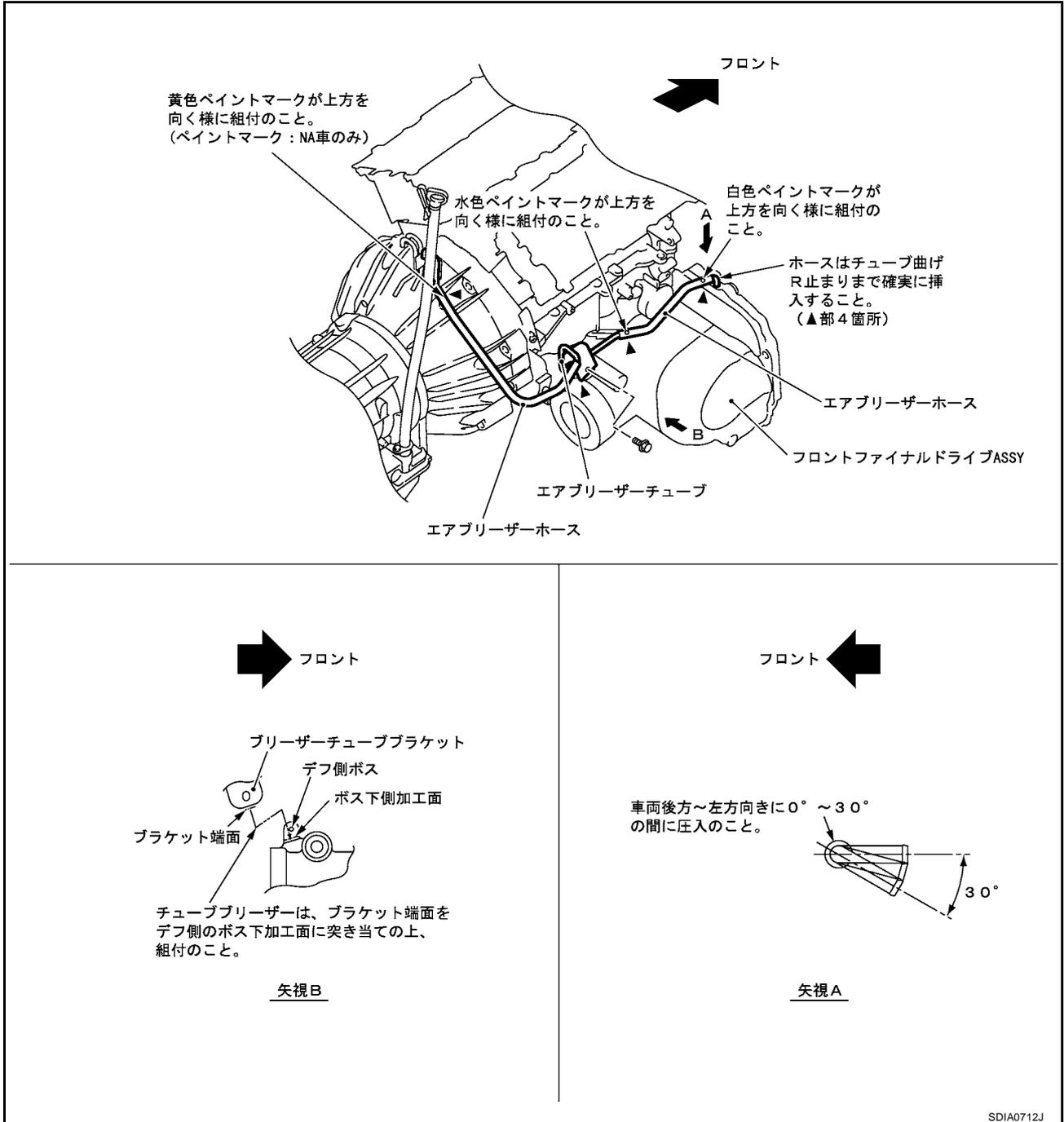
- 取り外しの逆の手順で行う。
- フロントファイナルドライブ ASSY の取付ボルトは、ハウジング横部 (3本) 及びハウジング上部 (1本)、フロントカバー (1本)、ハウジング下部 (1本) の順で締め付ける。

# フロントファイナルドライブ ASSY

- サイドシャフト取り付け時には、サイドシャフトとサイドオイルシールの接触部にニッサン MP スペシャルグリース No.2 を塗布する。

## フロントファイナルドライブブリーザーホース

JDS002C1



**注意：** フロントファイナルドライブブリーザーホースの脱着要領については、図を参照のこと。



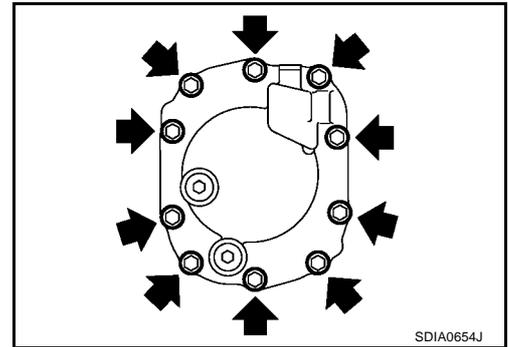
分解前の点検

JDS002CK

トータルプリロード

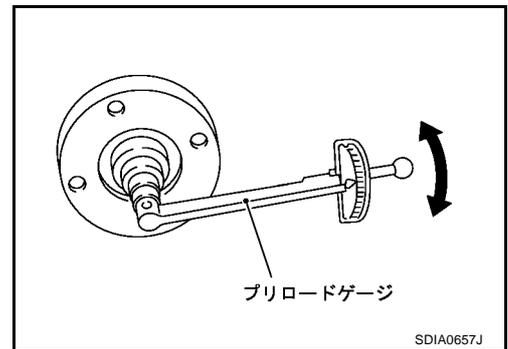
1. ユニット ASSY をアタッチメント (特殊工具) に固定する。
2. ギヤオイルを抜く
3. キャリヤケースカバーを外す。

**注意:** キャリヤケース不良の場合、ユニット ASSY の交換となる。



4. コンパニオンフランジを 20 回以上回転させ、プリロードゲージを使用して、トータルプリロードを測定する。

トータルプリロードトルク : 1.56 ~ 2.65N·m { 0.16 ~ 0.27kg·m }



- プリロードが基準値を外れる場合、ピニオンベアリングのプリロード及びサイドベアリングのプリロードを調整する。

**プリロードが大きい場合** : ドライブピニオンベアリングアジャストワッシャーを薄くする。  
 : ドライブピニオンアジャストワッシャーを薄くする。  
 : サイドベアリングアジャストシムを厚くする。

**プリロードが小さい場合** : ドライブピニオンベアリングアジャストワッシャーを厚くする。  
 : ドライブピニオンアジャストワッシャーを厚くする。  
 : サイドベアリングアジャストシムを薄くする。

ドライブピニオンベアリングアジャストワッシャー

厚さ (mm)	部品番号	厚さ (mm)	部品番号	厚さ (mm)	部品番号
3.81	38125 61001	3.91	38130 61001	4.01	38135 61001
3.83	38126 61001	3.93	38131 61001	4.03	38136 61001
3.85	38127 61001	3.95	38132 61001	4.05	38137 61001
3.87	38128 61001	3.97	38133 61001	4.07	38138 61001
3.89	38129 61001	3.99	38134 61001	4.09	38139 61001

ドライブピニオンアジャストワッシャー

厚さ (mm)	部品番号	厚さ (mm)	部品番号	厚さ (mm)	部品番号
5.19	38151 AR000	5.79	38151 AR002	6.39	38151 AR004
5.49	38151 AR001	6.09	38151 AR003	—	—

# フロントファイナルドライブ ASSY

## サイドベアリングアジャストシム

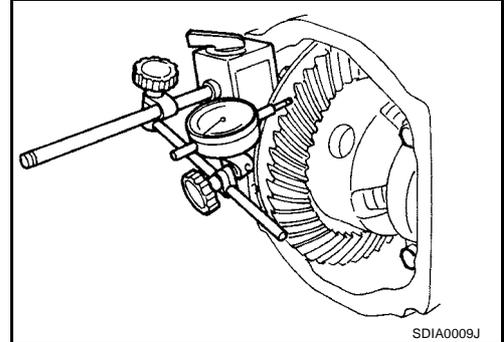
厚さ (mm)	部品番号	厚さ (mm)	部品番号	厚さ (mm)	部品番号
0.20	38453 AR000	0.30	38453 AR002	0.50	38453 AR004
0.25	38453 AR001	0.40	38453 AR003	—	—

### ハイポイドギヤバックラッシュ

- ダイアルゲージをドライブギヤのフェース部にセットし、バックラッシュを測定する。

バックラッシュ基準値 : 0.10 ~ 0.15mm

- バックラッシュが基準値を外れる場合、サイドベアリングアジャストシム（デフケース側）の厚さを移動させて調整する。



バックラッシュが大きい場合 : サイドベアリングアジャストシムを薄くする。  
 バックラッシュが小さい場合 : サイドベアリングアジャストシムを厚くする。

## サイドベアリングアジャストシム

厚さ (mm)	部品番号	厚さ (mm)	部品番号	厚さ (mm)	部品番号
0.20	38453 AR000	0.30	38453 AR002	0.50	38453 AR004
0.25	38453 AR001	0.40	38453 AR003	—	—

### ドライブギヤ背面振れ

- ダイアルゲージをドライブギヤの背面にセットし、ドライブギヤを回転させて、背面振れを測定する。

振れ限度値 : 0.05mm 以下

- 背面振れが限度値を外れる場合、ドライブギヤの組付状態（ドライブギヤとデフケースの間の異物かみ込み及びデフケースの変形、ドライブギヤの変形等）を点検する。
- ドライブギヤの変形はハイポイドギヤ ASSY で、デフケースの変形はデフケースを交換する。

### コンパニオンフランジ振れ

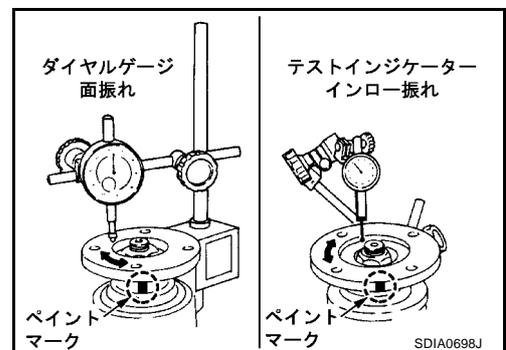
- ダイアルゲージをコンパニオンフランジ側面にセットし、面振れを測定する。

面振れ限度値 : 0.18mm 以下

- テストインジゲーターをコンパニオンフランジ内側（インロー径）にセットし、インロー振れを測定する。

インロー振れ限度値 : 0.13mm 以下

**注意：** 測定面に錆がある場合、良く落としてから測定する。



- 振れが限度値を外れる場合、コンパニオンフランジとドライブピニオンの位相を 90° ずつずらし、振れの最小値を探す。
- 位相を変えても振れが限度値を外れる場合、コンパニオンフランジを交換する。
- コンパニオンフランジを交換しても振れが限度値を外れる場合、ピニオンベアリングとドライブピニオンの組付不良及びピニオンベアリングの不良が考えられる。

# フロントファイナルドライブ ASSY

## ハイポイドギヤ歯当り

1. ドライブギヤの歯面両面 4 箇所、ダイカトル PL-1 を薄く塗り、ドライブギヤを回転させて、歯当たりを点検する。
2. 歯当りは、ドライブ側（加速側）、バック側（減速側）、両方点検する。

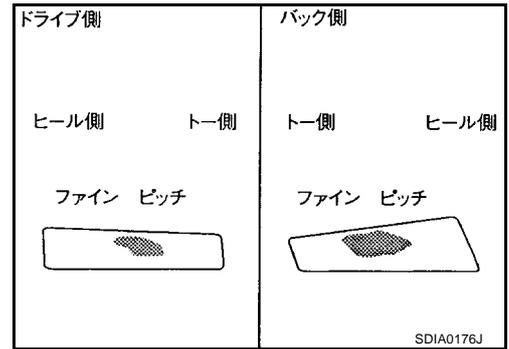
**注意：** 歯当たり状態の詳細については、「[歯当たり点検](#)」(RFD-28 ページ) を参照。

- 歯当たりが不良の場合、ドライブピニオンハイトアジャストワッシャーの厚さを増減させて調整する。

・ダイカトル PL-1 問い合わせ先

ダイカトル PL-1 (1Kg、ポリ容器入り) の購入は、下記取扱会社へご依頼下さい。また、購入の際は、送料着払い、代金翌月末銀行振り込み（手数料自己負担）にてお願いします。なお、納品までに約 2 週間を要しますのでご了承下さい。

品名                   ダイカトル PL-1  
 取扱会社           大同化学工業（株）北関東営業所  
 電話番号           0287-88-7747



A

B

C

FFD

E

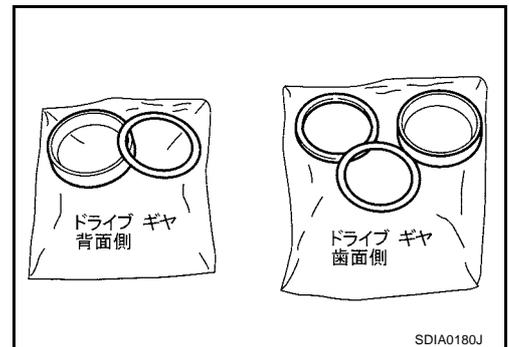
JDS002CL

## 分解、組み立て

### 分解

#### ドライブギヤ及びデフケース ASSY 取り外し

1. サイドリテーナー取付ボルトを取り外す。
2. サイドリテーナーの切り欠き部にマイナスドライバー等を入れ、リテーナーを浮き上がらせる。
3. サイドリテーナーを引き抜きながら、プラスチックハンマー等でキャリアケースを軽くたたき、リテーナーを取り外す。
4. デフケース ASSY をキャリアケースより取り外す。  
**注意：** 取り外し時、キャリアカバー取付面に傷を付けないこと。
5. プーラーを用いてサイドベアリングアウターレースを取り外す。
6. サイドベアリングアウターレース及びアジャストワッシャーは背面側、歯面側に分けて管理する。



G

H

I

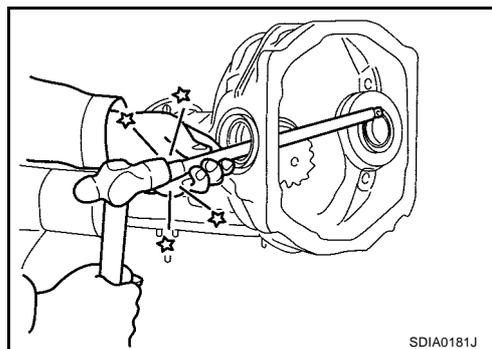
J

K

L

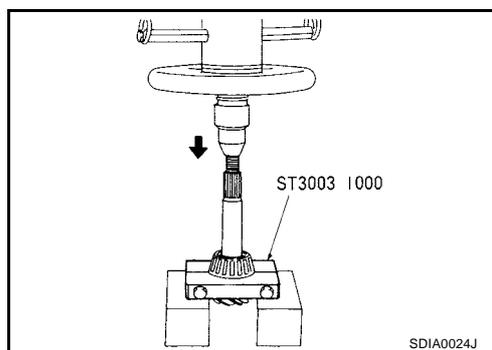
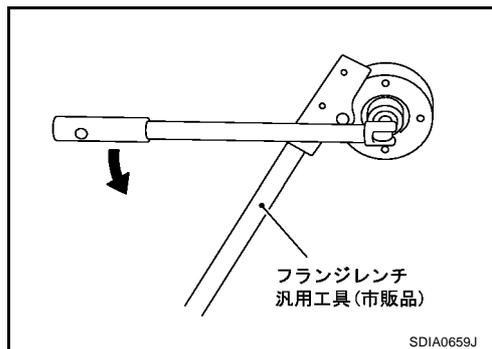
## フロントファイナルドライブ ASSY

7. 黄銅棒を使用し、キャリアケースからオイルシールを取り外す。



### ドライブピニオン ASSY 取り外し

1. カムプロケットレンチ (特殊工具) 又はフランジレンチ (汎用工具) を使用して、ピニオンロックナットを取り外す。
2. プーラーを使用して、コンパニオンフランジを取り外す。
3. ドライブピニオンにロックナットを仮締めする。  
**注意:** ドライブピニオンとロックナットは面一にする。
4. 銅ハンマー等を使用して、ドライブピニオンをキャリアケースより取り外す。
5. 黄銅棒を使用して、ベアリングアウターレースを均等にたたきながら打ち抜く。
6. コンパニオンフランジ側は、ベアリング及びオイルシールとともに打ち抜く。
7. ドライブピニオンベアリングをベアリングリプラー (特殊工具) を使用して、ドライブピニオンから抜き取る。



# フロントファイナルドライブ ASSY

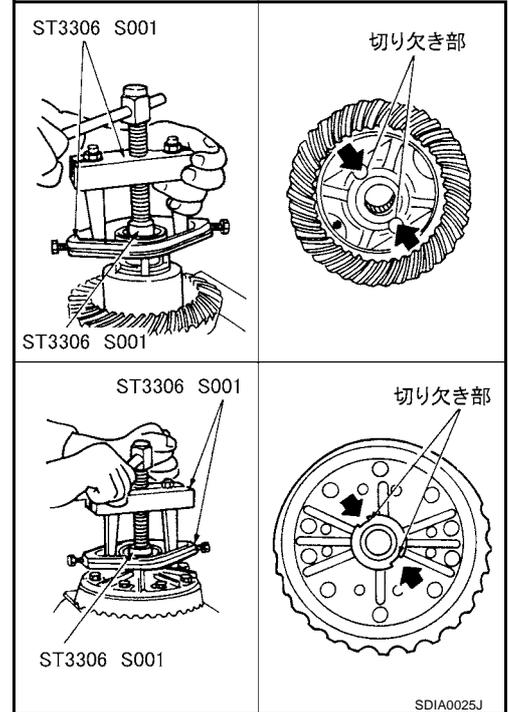
## デフケース分解

### 1. サイドベアリングを取り外す

- デフケース ASSY を万力に固定し、サイドベアリングをプーラーセット (特殊工具) を使用して、デフケースから取り外す。

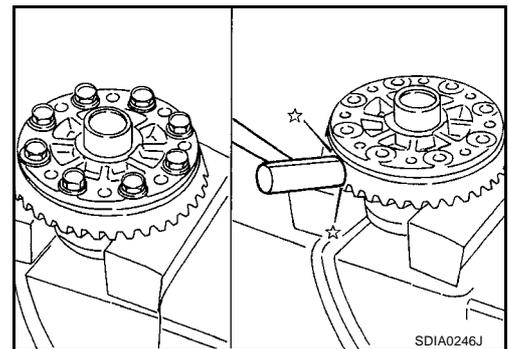
**注意:** 万力に固定するとき、サイドベアリング及びドライブギヤに傷を付けないよう必ず銅板等を介すること。

- サイドベアリングは交換するとき以外は外さないこと。



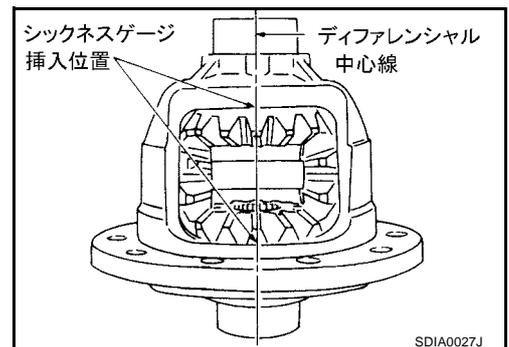
### 2. ドライブギヤを取り外す

- ドライブギヤ取付ボルトを取り外す。
- プラスチックハンマー等を使用し、リングギヤの横をたたき、ドライブギヤを取り外す。



### 3. サイドギヤ背面クリアランスを点検する

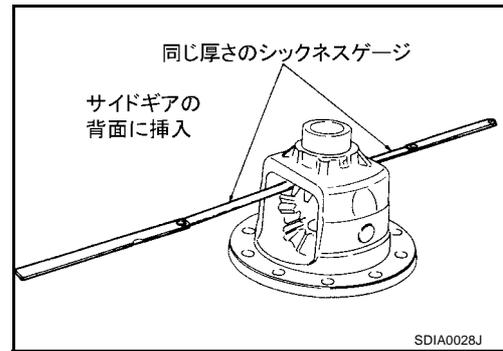
- 測定する側のサイドギヤが上になるよう、デフケースを直立させる。



## フロントファイナルドライブ ASSY

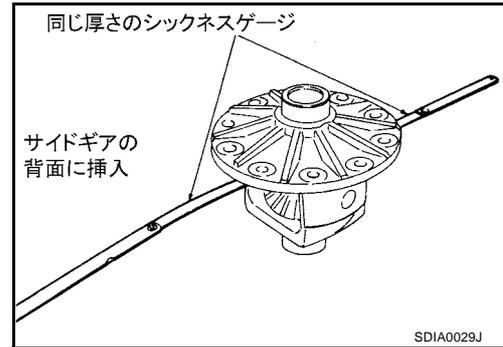
- b. サイドギヤの倒れを防止するため、両側から同じ厚さのシクネスゲージをサイドギヤの背面に挿入し、クリアランスを測定する。
- c. クリアランスの値は、サイドギヤを回転させて3回測定し、その平均値とする。

サイドギヤ背面クリアランス :0.20mm以下で抵抗なくギヤが回転すること。



- d. デフケースの上下を置き替えて、反対側のサイドギヤ背面クリアランスを同様に測定する。

サイドギヤ背面クリアランス :0.20mm以下で抵抗なくギヤが回転すること。



- 背面クリアランスが基準値を外れる場合、スラストワッシャーの厚さを増減させて調整する。

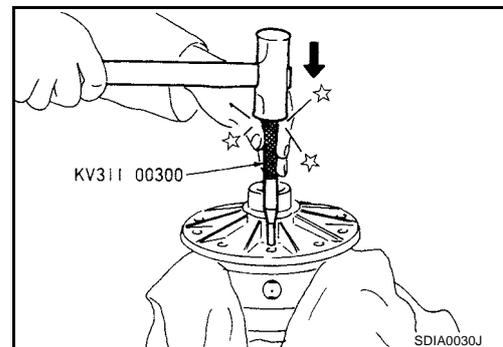
背面クリアランスが大きい場合 :スラストワッシャーを厚くする。  
 背面クリアランスが小さい場合 :スラストワッシャーを薄くする。

### サイドギヤスラストワッシャー

厚さ (mm)	部品番号	厚さ (mm)	部品番号	厚さ (mm)	部品番号
0.68	38424 W1010	0.80	38424 W1014	0.92	38424 W1018
0.71	38424 W1011	0.83	38424 W1015	0.95	38424 W1019
0.74	38424 W1012	0.86	38424 W1016	0.98	38424 W1020
0.77	38424 W1013	0.89	38424 W1017	1.01	38424 W1021

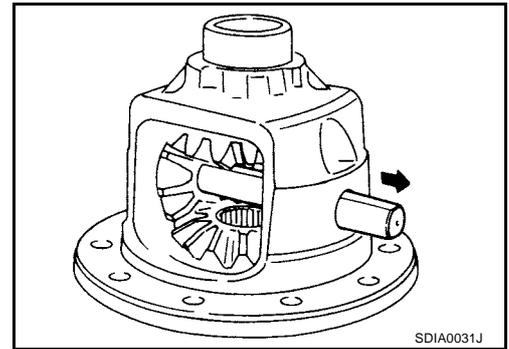
### 4. デフケースを分解する

- a. ピニオンメートシャフトのロックピンをピンポンチ (特殊工具) を使用して、打ち抜く。

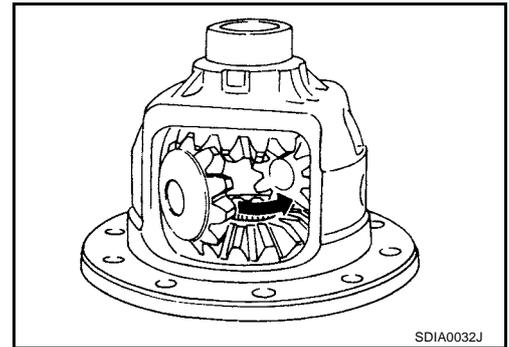


## フロントファイナルドライブ ASSY

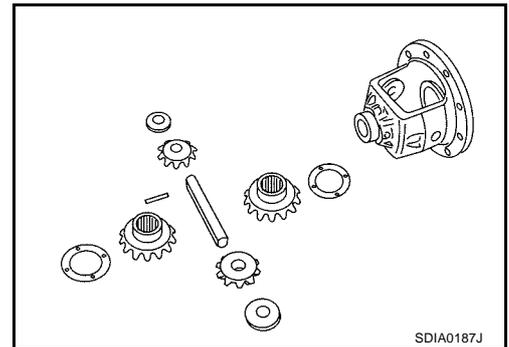
b. ピニオンメートシャフトを取り外す。



c. ピニオンメートギヤを回転させて、ピニオンメートギヤ、ピニオンメートスラストワッシャー、サイドギヤ、サイドギヤスラストワッシャーをデフケースより取り外す。



d. サイドギヤ、サイドギヤスラストワッシャー、ピニオンメートシャフト、ピニオンメートギヤ、ピニオンメートスラストワッシャー、及びデフケースを点検する。



### 各部品の点検

- 分解した部品は十分洗浄し、摩耗、損傷及びその他の異常がないか点検し、異常がある場合、下記に従い処置する。

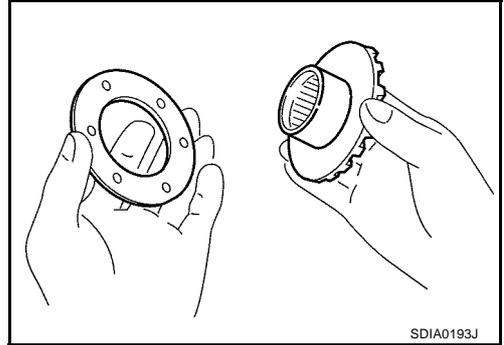
項 目	処 理
ドライブギヤ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 歯当たりが異常な場合、原因を調査し、正しい歯当りに調整する。</li> <li>• 歯面の摩耗が著しいもの、割れ、損傷、焼き付き等が見られる物は、ギヤセットで交換する。</li> </ul>
ベアリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 焼き付き、はく離、摩耗、錆、手回しの際の引っ掛かり、異音、ゴリ感、その他の損傷があるものは交換する。交換時は必ずインナー、アウターセットで交換する。</li> </ul>
サイドギヤ及びピニオンメートギヤ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 歯面に亀裂、損傷のあるものは交換する。</li> <li>• スラストワッシャーの当たり面に摩耗、焼き付きのあるものは交換する。</li> </ul>
サイドギヤスラストワッシャー及びピニオンメートスラストワッシャー	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 焼き付き、損傷、異常摩耗のあるものは交換する。</li> </ul>
オイルシール	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 再使用不可部品のため、取り外し時には必ず交換する。</li> <li>• リップ部の摩耗大、緊迫力劣化（リップ部のシール力）、損傷のあるものは必ず交換する。</li> </ul>
デフケース	<ul style="list-style-type: none"> <li>• しゅう動部の摩耗、亀裂のあるものは交換する。</li> </ul>
コンパニオンフランジ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• オイルシールのリップ当たり面に、引っ掛かりのある摩耗(約 0.1mm)及び焼き付きのあるものは交換する。</li> </ul>

# フロントファイナルドライブ ASSY

## 組み立て

### デフケース組み立て

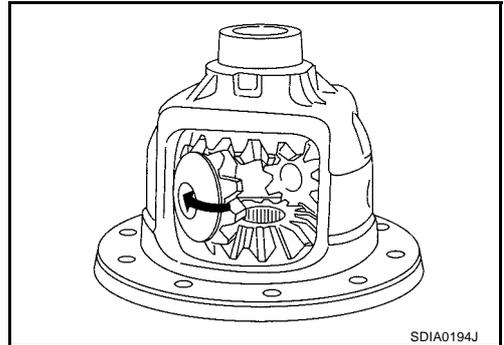
1. 各ギヤ、スラストワッシャー及びデフケースのしゅう動部にギヤオイルを塗る。
2. サイドギヤに分解前のスラストワッシャーを組み付けるか、分解前と同じ厚さのワッシャーを組み付ける。



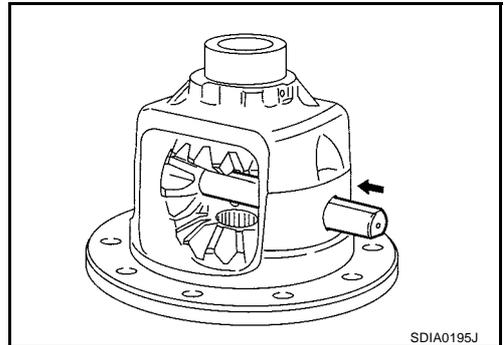
3. デフケースに、サイドギヤ及びスラストワッシャー、ピニオンメートギヤ及びスラストワッシャーを組み付ける。

**注意:** サークリップ付きのサイドギヤをサイドリテーナー側に組み付ける。

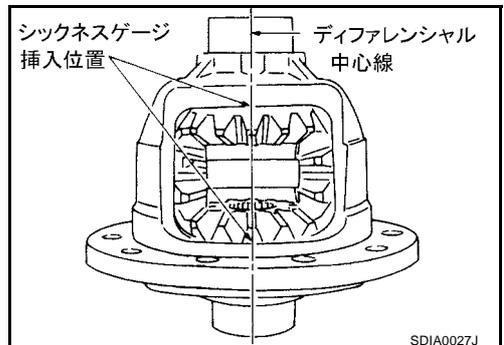
4. 組み付けは、2つのピニオンメートギヤを対角位置に合わせ、回転させながら、デフケースに組み込む。



5. デフケースのロックピン穴とシャフトのロックピン穴を合わせ、ピニオンメートシャフトを組み付ける。



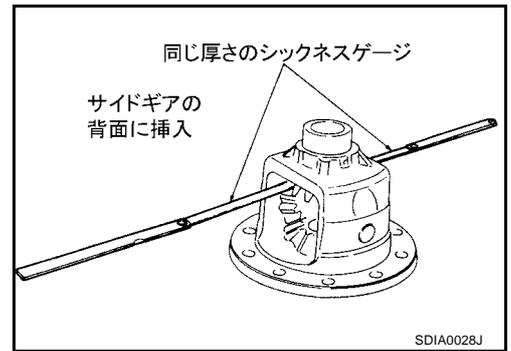
6. 測定する側のサイドギヤが上になるようにデフケースを直立させる。



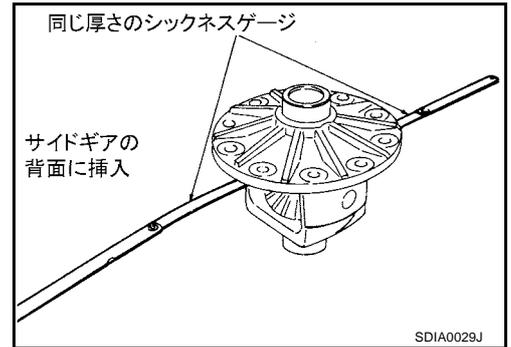
## フロントファイナルドライブ ASSY

7. サイドギヤの倒れを防止するため、両側から同じ厚さのシックネスゲージをサイドギヤの背面に入れ、クリアランスを測定する。
8. クリアランスの値は、サイドギヤを回転させて3回測定し、その平均値とする。
9. クリアランスが下記基準値となるように、サイドギヤスラストワッシャーを選択する。

サイドギヤ背面クリアランス : 0.20mm 以下で抵抗なくギヤが回転すること



10. デフケースの上下を置き換えて、反対側のサイドギヤ背面クリアランスを同様に測定する。



11. 背面クリアランスが基準値を外れる場合、スラストワッシャーの厚さを増減させて調整する。

背面クリアランスが大きい場合 : スラストワッシャーを厚くする。

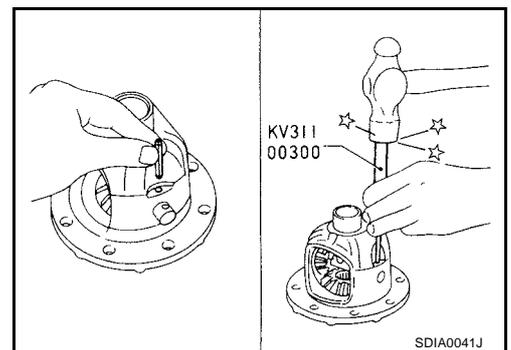
背面クリアランスが小さい場合 : スラストワッシャーを薄くする。

サイドギヤスラストワッシャー

厚さ (mm)	部品番号	厚さ (mm)	部品番号	厚さ (mm)	部品番号
0.68	38424 W1010	0.80	38424 W1014	0.92	38424 W1018
0.71	38424 W1011	0.83	38424 W1015	0.95	38424 W1019
0.74	38424 W1012	0.86	38424 W1016	0.98	38424 W1020
0.77	38424 W1013	0.89	38424 W1017	1.01	38424 W1021

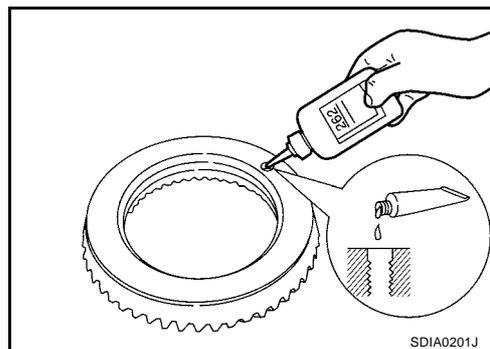
12. ピンポンチ ( 特殊工具 ) を使用して、ピニオンメートシャフトにロックピンを打ち込む。

**注意:** ロックピンは再使用不可部品のため、必ず新品に交換すること。



## フロントファイナルドライブ ASSY

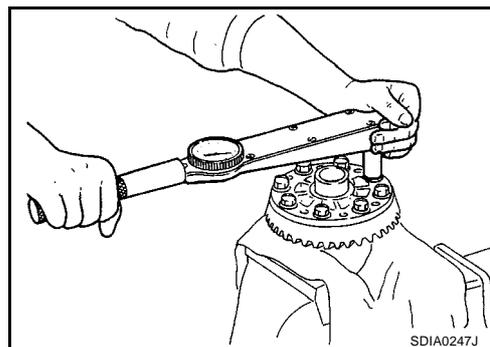
- a. ドライブギヤのネジ部にロックタイトを1～2滴塗る。



- b. ドライブギヤとデフケースを結合する。

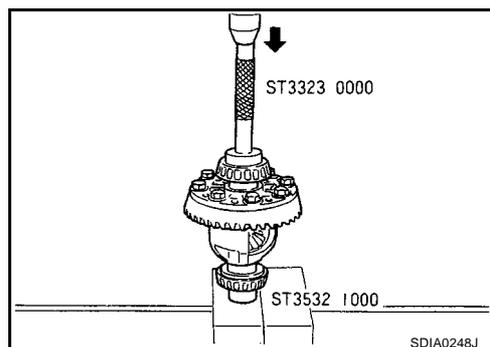
- c. ボルト座面に防錆油を塗り、対角線に均等に規定トルクで締め付ける。

締付トルク : 93.1 ~ 112.7N·m { 9.5 ~ 11.5kg·m }



- d. ドリフト (特殊工具) を使用して、サイドベアリングをデフケースに圧入する。

参考: ベアリング圧入始めはハンマーで軽打し、デフケースとベアリングを直角にする。その後プレスにて圧入すること。

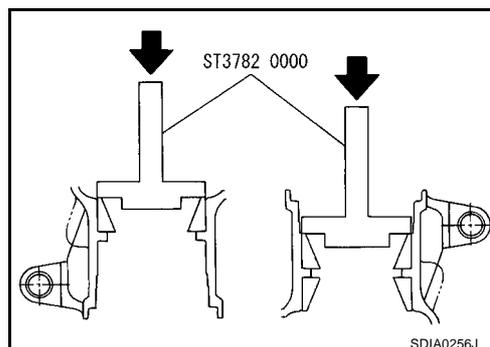


### ハイポイドギヤ歯当たり及びバックラッシュ点検

#### 1. ピニオンベアリングアウターレース取り付け

- ドリフト (特殊工具) を使用して、ピニオンベアリングアウターレースをキャリアケースに取り付ける。

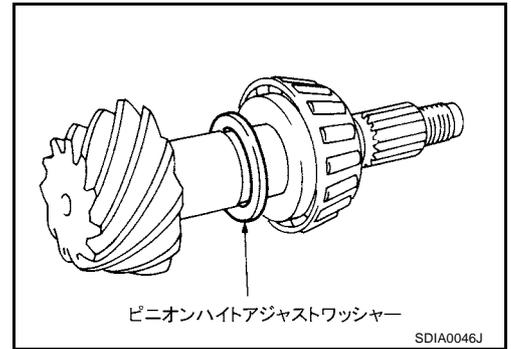
**注意:** アウターレース圧入始めはハンマーで軽打し、キャリアケースとアウターレースを直角にする。その後プレスにて圧入すること。



## フロントファイナルドライブ ASSY

### 2. ドライブピニオンハイトアジャストワッシャー取り付け(仮り組み付け)

- ドライブピニオンに分解前のワッシャーを組み付けるか、分解前と同じ厚さのワッシャーを組み付ける。



### 3. ギヤセット交換時のワッシャー選択

- ハイポイドギヤセットを交換した場合、新旧ドライブピニオンの加工誤差修正を行い、ワッシャーを選択する。
- 加工誤差修正

$$T = T_0 + (t_1 - t_2)$$

T : 組み付けるべきワッシャーの厚さ

T<sub>0</sub> : 取り外し時ワッシャーの厚さ

t<sub>1</sub> : 旧ドライブピニオンのヘッド数字

(加工誤差 1/100mm を 100 倍して表示してある)

t<sub>2</sub> : 新ドライブピニオンのヘッド数字

(加工誤差 1/100 を 100 倍して表示してある)

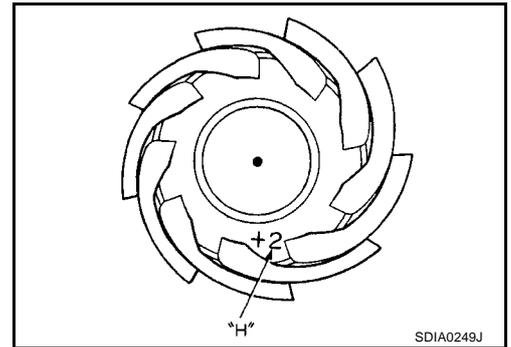
[ 計算例 ]

T<sub>0</sub> = 3.21、t<sub>1</sub> = + 2、t<sub>2</sub> = - 1 とき

$$T = 3.21 + \{(2 \times 0.01) - (-1 \times 0.01)\} = 3.24$$

- ドライブピニオンに、仮のワッシャーを取り付ける。

参考：ワッシャーは、ドライブピニオンハイトアジャストワッシャー一覧表より選択する。



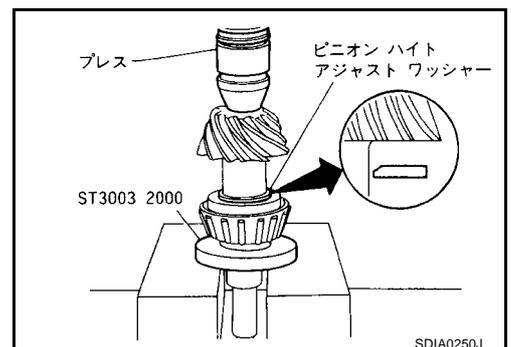
### ドライブピニオンハイトアジャストワッシャー

厚さ (mm)	部品番号	厚さ (mm)	部品番号	厚さ (mm)	部品番号
3.09	38154 U1500	3.30	38154 U1507	3.51	38154 U1514
3.12	38154 U1501	3.33	38154 U1508	3.54	38154 U1515
3.15	38154 U1502	3.36	38154 U1509	3.57	38154 U1516
3.18	38154 U1503	3.39	38154 U1510	3.60	38154 U1517
3.21	38154 U1504	3.42	38154 U1511	3.63	38154 U1518
3.24	38154 U1505	3.45	38154 U1512	3.66	38154 U1519
3.27	38154 U1506	3.48	38154 U1513	—	—

### 4. ドライブピニオンベアリング取り付け

- ドリフト (特殊工具) を使用して、ドライブピニオンベアリングを取り付ける。

**注意：**ワッシャーの向きを間違えないこと。



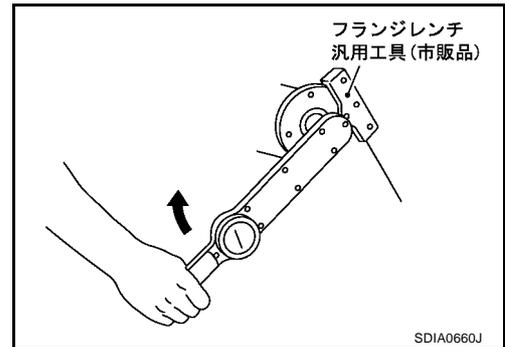
## フロントファイナルドライブ ASSY

### 5. ドライブピニオン及びドライブピニオンベアリング取り付け

- a. ベアリング部にギヤオイルを塗る。
- b. ドライブピニオン、ドライブピニオンベアリング (フロント側) をキャリアケースに組み付ける。  
**注意:** ドライブピニオンアジャストワッシャー及びドライブピニオンベアリングアジャストワッシャーは組み付けないこと。
- c. オイルシールは取り付けず、コンパニオンフランジを取り付ける。
- d. ドライブピニオンのネジ部及びナット座面に防錆油を塗り、ナット (仮) を取り付ける。
- e. ピニオンナットを基準プリロードになるまで締め付ける。

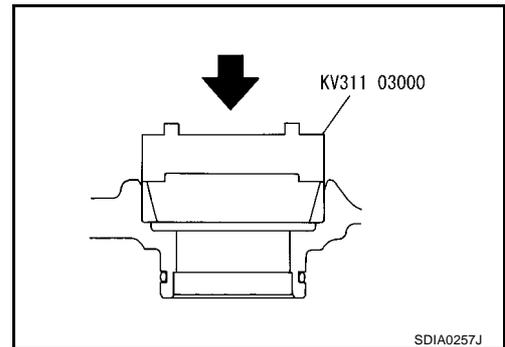
ピニオンベアリングプリロード基準値 : 0.78 ~ 1.57N・m  
(オイルシールなし) { 0.08 ~ 0.16Kg・m }

**注意:** ピニオンナットは、ワッシャー (ドライブピニオンアジャストワッシャー及びピニオンベアリングアジャストワッシャー) が入っていないため、プリロードを測定しながら 5° ~ 10° ずつ締め込み、締め過ぎないこと。

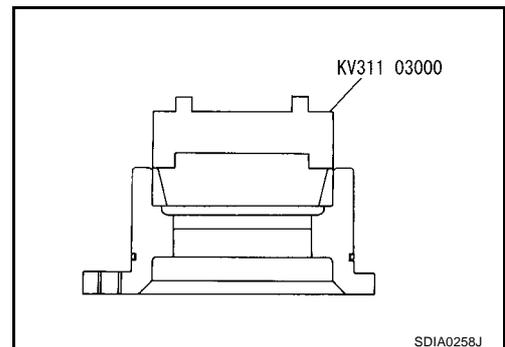


### 6. デフケース取り付け

- a. ドリフト (特殊工具) を使用して、サイドベアリングアウターレース (キャリアケース側) をキャリアケースに取り付ける。  
**注意:** 過度の打撃を与えないこと。



- b. ドリフト (特殊工具) を使用して、サイドベアリングアウターレースをサイドリテーナーに取り付ける。



- c. ベアリング部にギヤオイルを塗る。
- d. デフケース ASSY をキャリアケースに組み付ける。  
**注意:** キャリヤカバー取付面に傷を付けないこと。
- e. サイドリテーナーにサイドベアリングアジャストシムを組み付け、ボルトを規定トルクで締め付ける。  
**注意:** アジャストシムは、分解前のものを組み付けるか、分解前と同じ厚さのものを組み付ける。

締め付トルク : 12.7 ~ 22.6kg・m { 1.3 ~ 2.3kg・m }

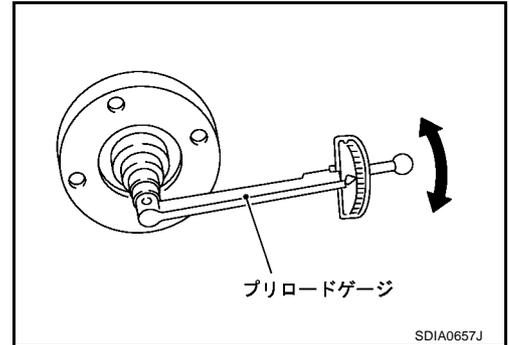
# フロントファイナルドライブ ASSY

**注意:** Oリングは取り付けない。

## 7. トータルプリロード測定

- コンパニオンフランジを 20 回以上回転させ、プリロードゲージにて、プリロードを測定する。

トータルプリロード基準値 : 1.56 ~ 2.65N·m  
(オイルシールを取付けない状態) { 0.16 ~ 0.27kg·m }



- プリロードが基準値を外れる場合、サイドリテーナー側アジャストシムの厚さを増減させて調整する。

プリロードが大きい場合 : サイドベアリングアジャストシムの厚さを増す  
プリロードが小さい場合 : サイドベアリングアジャストシムの厚さを減らす

### サイドベアリングアジャストシム

厚さ (mm)	部品番号	厚さ (mm)	部品番号	厚さ (mm)	部品番号
0.20	38453 AR000	0.30	38453 AR002	0.50	38453 AR004
0.25	38453 AR001	0.40	38453 AR003	—	—

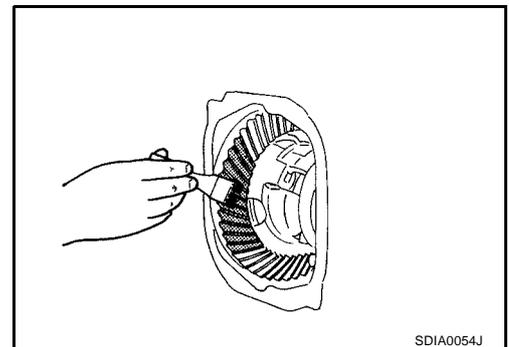
## 8. 歯当たり点検

- ドライブギヤ歯面、両面にダイカトール PL-1 を薄く塗り、ドライブギヤ及びドライブピニオンを回転させ、歯当りを点検する。

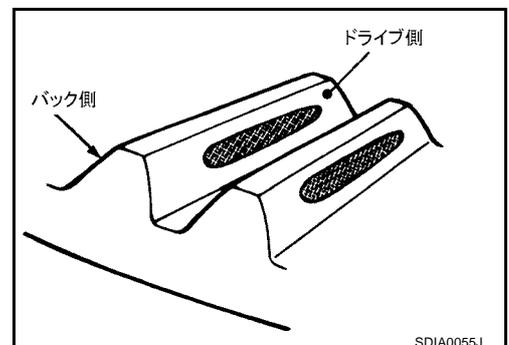
・ダイカトール PL-1 問い合わせ先

ダイカトール PL-1 (1Kg、ポリ容器入り) の購入は、下記取扱会社へご依頼下さい。また、購入の際は、送料着払い、代金翌月末銀行振り込み (手数料自己負担) にてお願いします。なお、納品までに約 2 週間を要しますのでご了承下さい。

品名           ダイカトール PL-1  
取扱会社      大同化学工業 (株) 北関東営業所  
電話番号      0287-88-7747



- 歯当りの点検は、ドライブギヤの 4 箇所で行い、ドライブ側 (加速側)、バック側 (減速側)、両方点検する。



# フロントファイナルドライブ ASSY

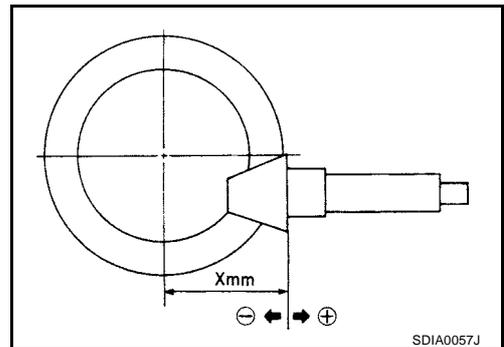
• 歯当たり判定基準

歯 当 り 状 態		ピニオン ハイ ト アジャスト ワッシャー 選 択 値	調整の要、不要
バック側	ドライブ側		
ヒール側 トー側 	トー側 ヒール側 	+0.15	要
ヒール側 トー側 	トー側 ヒール側 	+0.12	↑
ヒール側 トー側 	トー側 ヒール側 	+0.09	↑
ヒール側 トー側 	トー側 ヒール側 	+0.06	不 要
ヒール側 トー側 	トー側 ヒール側 	+0.03	↑
ヒール側 トー側 	トー側 ヒール側 	0	↑
ヒール側 トー側 	トー側 ヒール側 	-0.03	↑
ヒール側 トー側 	トー側 ヒール側 	-0.06	↑
ヒール側 トー側 	トー側 ヒール側 	-0.09	要
ヒール側 トー側 	トー側 ヒール側 	-0.12	↑
ヒール側 トー側 	トー側 ヒール側 	-0.15	↑

SDIA0251J

## 9. 歯当たり調整

- a. 歯当たりが不良の場合、ドライブピニオンハイトアジャストワッシャーの厚さを替えて、ピニオンハイト (図 Xmm) を調整する。



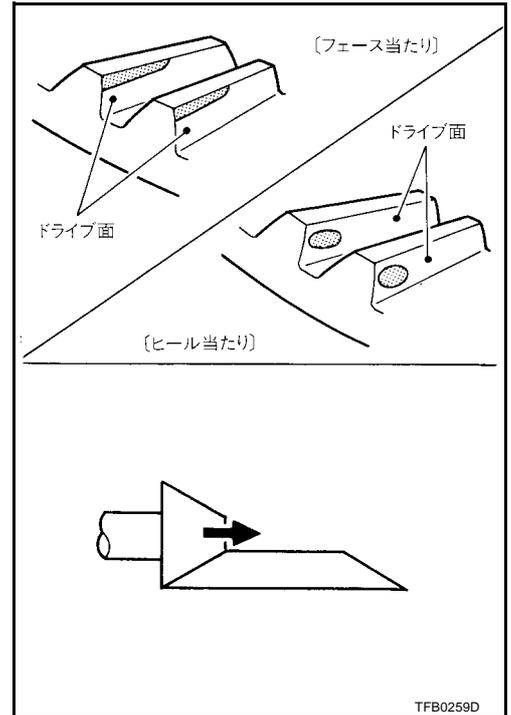
SDIA0057J

# フロントファイナルドライブ ASSY

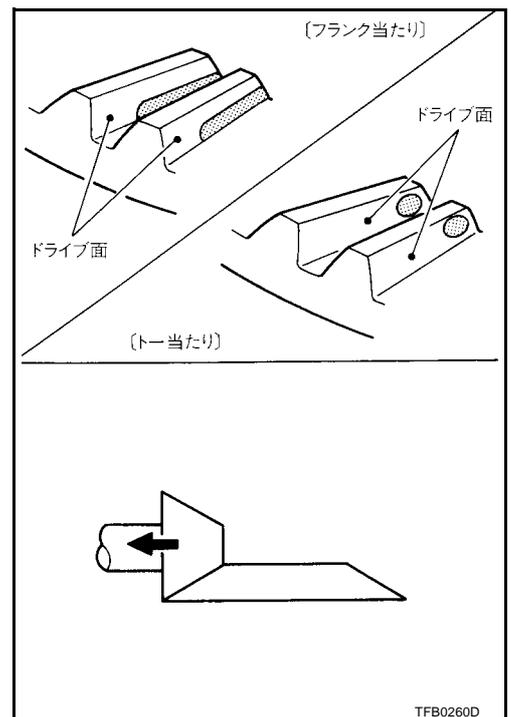
ドライブピニオンハイトアジャストワッシャー

厚さ (mm)	部品番号	厚さ (mm)	部品番号	厚さ (mm)	部品番号
3.09	38154 U1500	3.30	38154 U1507	3.51	38154 U1514
3.12	38154 U1501	3.33	38154 U1508	3.54	38154 U1515
3.15	38154 U1502	3.36	38154 U1509	3.57	38154 U1516
3.18	38154 U1503	3.39	38154 U1510	3.60	38154 U1517
3.21	38154 U1504	3.42	38154 U1511	3.63	38154 U1518
3.24	38154 U1505	3.45	38154 U1512	3.66	38154 U1519
3.27	38154 U1506	3.48	38154 U1513	—	—

- b. フェース当り及びヒール当りの場合、ドライブピニオンハイトアジャストワッシャーの厚さを厚くし、ドライブギヤに近づける。



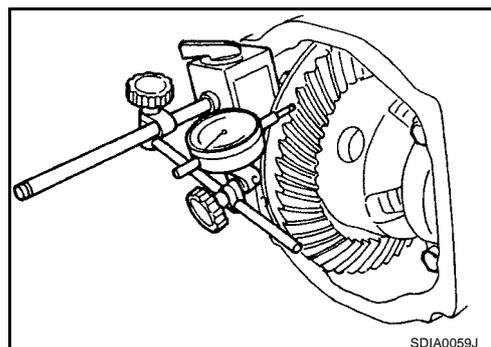
- c. フランク当り及びトー当りの場合、ドライブピニオンハイトアジャストワッシャーの厚さを減らし、ドライブピニオンをドライブギヤから遠ざける。



## フロントファイナルドライブ ASSY

d. ダイヤルゲージをドライブギヤのフェース部にセットして、バックラッシュを測定する。

バックラッシュ基準値 : 0.10 ~ 0.15mm



e. バックラッシュが基準値を外れる場合、キャリアケース側のサイドベアリングアジャストワッシャーの厚さを替えて調整する。

バックラッシュが大きい場合 : サイドベアリングアジャストワッシャーを薄くする。

バックラッシュが小さい場合 : サイドベアリングアジャストワッシャーを厚くする。

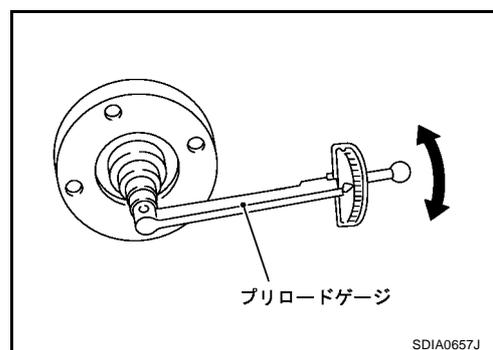
### サイドベアリングアジャストワッシャー

厚さ (mm)	部品番号	厚さ (mm)	部品番号	厚さ (mm)	部品番号
0.10	38453 AR010	0.17	38453 AR013	0.30	38453 AR016
0.12	38453 AR011	0.20	38453 AR014	0.40	38453 AR017
0.15	38453 AR012	0.25	38453 AR015	0.50	38453 AR018

### 10. トータルプリロード測定

- コンパニオンフランジを 20 回以上回転させ、プリロードゲージを使用してプリロードを測定する。

トータルプリロード基準値 (オイルシールを取付けない状態): 1.56 ~ 2.65N·m { 0.16 ~ 0.27kg·m }



- プリロードが基準値を外れる場合、サイドリテーナー側、アジャストシムの厚さを増減させて調整する。

プリロードが大きい場合 : サイドベアリングアジャストシムを厚くする。

プリロードが小さい場合 : サイドベアリングアジャストシムを薄くする。

### サイドベアリングアジャストシム

厚さ (mm)	部品番号	厚さ (mm)	部品番号	厚さ (mm)	部品番号
0.20	38453 AR000	0.30	38453 AR002	0.50	38453 AR004
0.25	38453 AR001	0.40	38453 AR003	—	—

### 11. ドライブピニオンプリロード調整

a. デフケース ASSY 取り外し

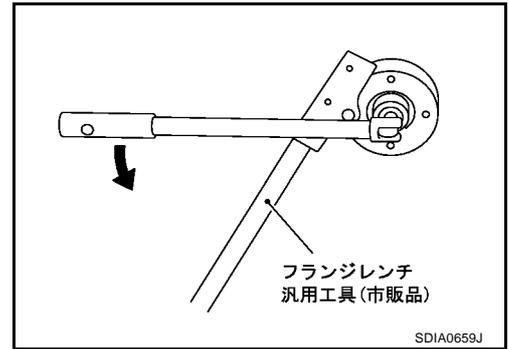
- サイドリテーナー切り欠部にドライバー等を入れ、リテーナーを浮き上がらせる。
- サイドリテーナーを引き抜きながら、プラスチックハンマー等でキャリアケースを軽くたたき、リテーナーを取り外す。
- デフケース ASSY を取り外す。

## フロントファイナルドライブ ASSY

**注意：** キャリヤケース取付面に傷を付けないこと。

b. ドライブピニオン ASSY 取り外し。

i. カムプロケットレンチ (特殊工具) 又はフランジレンチ (汎用工具) を使用して、ピニオンロックナットを取り外す。



ii. プーラー (特殊工具) を使用して、コンパニオンフランジを取り外す。

iii. ドライブピニオンに、ピニオンロックナットを取り付ける。

**注意：** ドライブピニオンとピニオンロックナットは面一にし、ドライブピニオンのネジ山損傷防止を図る。

iv. 銅ハンマー等を使用して、ドライブピニオンをキャリヤケースより打ち抜く。

v. ドライブピニオンアジャストワッシャー及びドライブピニオンベアリングアジャストワッシャーをドライブピニオンに組み付け、キャリヤケースに組み付ける。

**注意：** ドライブピニオンアジャストワッシャー及びドライブピニオンベアリングアジャストワッシャーは、分解前のものを組み付けるか、分解前と同じ長さ及び同じ厚さのものを組み付ける。

vi. ベアリング部に、ギヤオイルを塗る。

vii. ドライブピニオン及びベアリングをキャリヤケースに組み付ける。

viii. オイルシールは取り付けず、コンパニオンフランジを取り付ける。

ix. ドライブピニオンのネジ部及びピニオンナットの座面に防錆油を塗り、仮のナットを取り付ける。

x. コンパニオンフランジを回し、ベアリングをなじませる。

xi. プリロードゲージを使用して、プリロードを測定しながら締め付ける。

xii. 規定トルクの時、規定プリロードとなるよう、ドライブピニオンアジャストワッシャー及びドライブピニオンベアリングアジャストワッシャーを選択する。初め、ワッシャーは厚いものを選び、徐々に薄いものに替えていく。

ドライブピニオン締め付トルク  $127.4 \sim 245.0\text{N}\cdot\text{m} \{ 13\sim 25\text{kg}\cdot\text{m} \}$

ピニオンベアリングプリロード基準値  
(オイルシールを取り付けない状態)  $0.78 \sim 1.57\text{N}\cdot\text{m} \{ 0.08 \sim 0.16\text{kg}\cdot\text{m} \}$

ワッシャーを厚くすると                      プリロード：小  
ワッシャーを薄くすると                      プリロード：大

**注意：** プリロードを加え過ぎないこと。

## フロントファイナルドライブ ASSY

### ドライブピニオンアジャストワッシャー

長さ (mm)	部品番号	長さ (mm)	部品番号	長さ (mm)	部品番号
5.19	38151 AR000	5.79	38151 AR002	6.39	38151 AR004
5.49	38151 AR001	6.09	38151 AR003	—	—

### ドライブピニオンベアリングアジャストワッシャー

厚さ (mm)	部品番号	厚さ (mm)	部品番号	厚さ (mm)	部品番号
3.81	38125 61001	3.93	38131 61001	4.05	38137 61001
3.83	38126 61001	3.95	38132 61001	4.07	38138 61001
3.85	38127 61001	3.97	38133 61001	4.09	38139 61001
3.87	38128 61001	3.99	38134 61001	—	—
3.89	38129 61001	4.01	38135 61001	—	—
3.91	38130 61001	4.03	38136 61001	—	—

xiii. 規定トルクで規定プリロード(ドライブピニオンアジャストワッシャー及びドライブピニオンベアリングアジャストワッシャーを選択)になったら、一度ドライブピニオンを抜く。

xiv. プーラー(特殊工具)を使用して、コンパニオンフランジを取り外す。

xv. ドライブピニオンにピニオンロックナットを取り付ける。

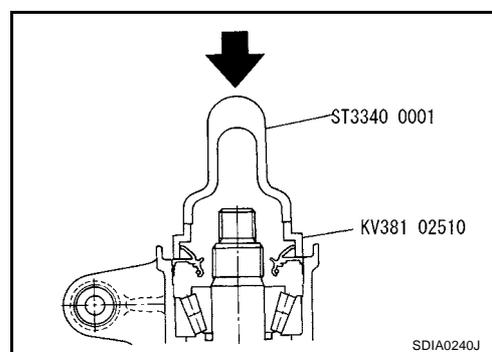
**注意:** ドライブピニオンとピニオンロックナットは面一にし、ドライブピニオンのネジ山損傷防止を図る。

xvi. 銅ハンマー等を使用して、ドライブピニオンをキャリアケースより打ち抜く。

xvii. ベアリング部にギヤオイルを塗る。

xviii. ドライブピニオン及び選択したドライブピニオンアジャストワッシャー、ドライブピニオンベアリングアジャストワッシャーをキャリアケースに取り付け、ベアリングを取り付ける。

xix. オイルシールのリップ部にニッサン MP スペシャルグリース No. 2 を塗る。



xx. ドリフト(特殊工具)を使用して、オイルシールを取り付ける。

xxi. コンパニオンフランジを取り付ける。

xxii. ドライブピニオンのネジ部及びピニオンナットの座面に防錆油を塗り、新品のナットを取り付ける。

**注意:** ピニオンナットは再使用不可部品のため、必ず新品に交換すること。

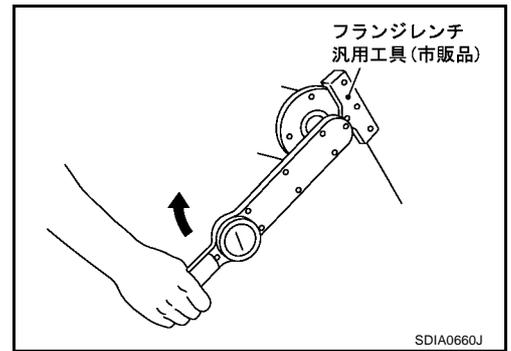
## フロントファイナルドライブ ASSY

xxiii. コンパニオンフランジを 20 回以上回し、ベアリングをなじませる。

xxiv. 規定トルクで締め付ける。

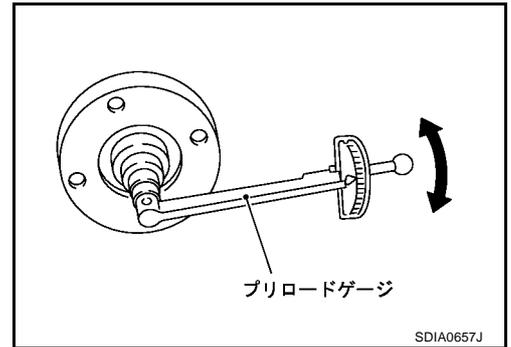
ドライブピニオン締め付トルク : 127.4 ~ 245.0N・m  
{ 13 ~ 25kg・m }

**注意:** 締め過ぎないこと。



xxv. プリロードゲージを使用して、プリロードを測定する。

ピニオンベアリングプリロード基準値 : 0.78 ~ 1.57 N・m  
(オイルシールを取り付けた状態) { 0.08 ~ 0.16kg・m }



### 12. デフケース ASSY 取り付け

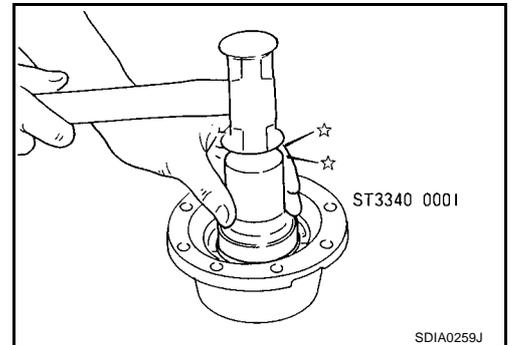
a. サイドベアリング部にギヤオイルを塗り、デフケース ASSY をキャリアケースに組み付ける。

**注意:** キャリヤケース取付面に傷を付けないこと。

b. オイルシールのリップ部に、ニッサン MP スペシャルグリース No.2 を塗る。

c. サイドリテーナーに、ドリフト (特殊工具) を使用して、オイルシールを取り付ける。

**注意:** ボルト締め付後、ケース内部にはみ出した液状ガスケットをふき取ること。



d. キャリヤケースのサイドリテーナー取付穴 (貫通穴) に、液状ガスケット (スリーボンド 1215) を塗る。

e. サイドリテーナーに選択したサイドベアリングアジャストシム、O リングを組み付け、キャリアケースに取り付ける。

**注意:** O リングは、ギヤオイルを塗りアジャストシムの後 (キャリアケース側) に組み付ける。

f. サイドリテーナー取付ボルトを規定トルクで締め付ける。

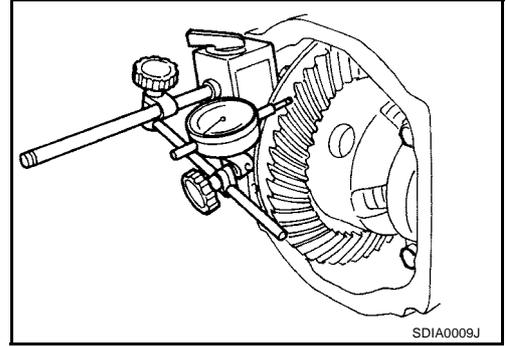
締め付トルク : 12.7 ~ 22.6N・m { 1.3 ~ 2.3kg・m }

## フロントファイナルドライブ ASSY

### 組み立て後の点検

1. ドライブピニオンとドライブギヤを数回回転させ、なじませてから、ダイヤルゲージをドライブギヤのフェース部にセットし、バックラッシュを測定する。

バックラッシュ基準値 : 0.10 ~ 0.15mm



- バックラッシュが基準値を外れる場合、サイドベアリングアジャストワッシャー（キャリアケース側）の厚さを増減させて調整する。

バックラッシュが大きい場合 : サイドベアリングアジャストワッシャーを薄くする。  
 バックラッシュが小さい場合 : サイドベアリングアジャストワッシャーを厚くする。

#### サイドベアリングアジャストワッシャー

厚さ (mm)	部品番号	厚さ (mm)	部品番号	厚さ (mm)	部品番号
0.10	38453 AR010	0.17	38453 AR013	0.30	38453 AR016
0.12	38453 AR011	0.20	38453 AR014	0.40	38453 AR017
0.15	38453 AR012	0.25	38453 AR015	0.50	38453 AR018

2. ドライブギヤ背面振れを点検する。

振れ限度値 : 0.05mm 以下

3. ダイヤルゲージをドライブギヤの背面にセットし、ドライブギヤを回転させて、測定する。
  - 背面振れが限度値を外れる場合、ドライブギヤの組付状態（ドライブギヤとデフケースの間の異物かみ込み及びデフケースの変形、ドライブギヤの変形等）を点検する。
  - ドライブギヤの変形はハイポイドギヤ ASSY で、デフケースの変形はデフケースを交換する。
4. コンパニオンフランジの振れを点検する。

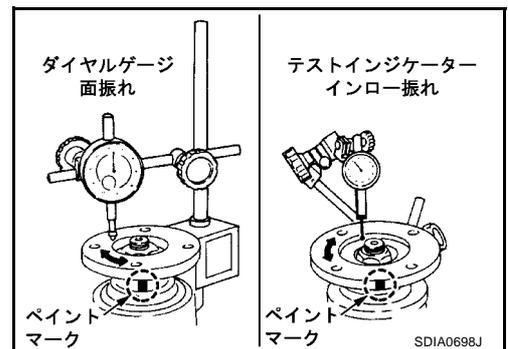
ダイヤルゲージ、テストインジケーターを使用し面振れ、インロー振れを測定する。

- a. 面振れの最大値（車両に対して後方に傾く最大値）にペイントでマークする。

面振れ限度値 : 0.18mm 以下

- b. インロー振れの最大値（回転中心に対して外側に振れる最大値）にペイントでマークする。

インロー振れ限度値 : 0.13mm 以下

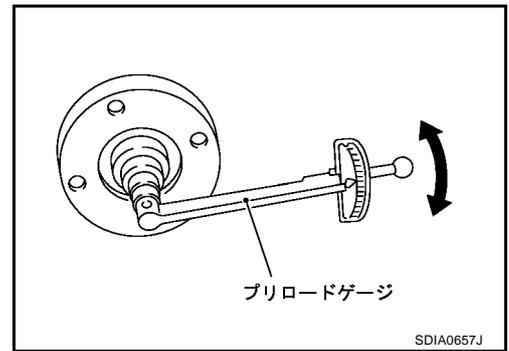


- 振れが限度値を外れる場合、コンパニオンフランジとドライブピニオンの位相を 90° ずつずらし、振れの最小値を探す。
- 位相を変えても振れが限度値を外れる場合、コンパニオンフランジを交換する。
- コンパニオンフランジを交換しても振れが限度値を外れる場合、ピニオンベアリングとドライブピニオンの組付不良及びピニオンベアリングの不良が考えられる。

## フロントファイナルドライブ ASSY

5. コンパニオンフランジを 20 回以上回転させた後、プリロードゲージを使用して、トータルプリロードを測定する。

トータルプリロード基準値 : 1.56 ~ 2.65N·m  
(オイルシールを取り付けた状態) { 0.16 ~ 0.27kg·m }



- プリロードが基準値を外れる場合、ピニオンベアリングのプリロード及びサイドベアリングのプリロードを調整する。

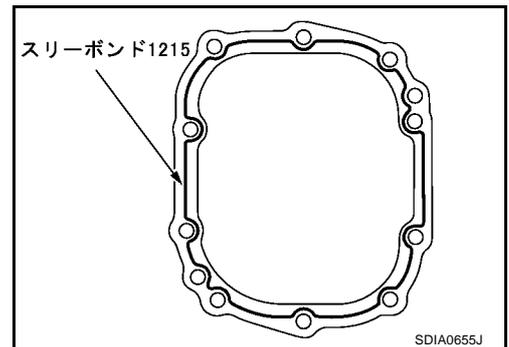
プリロードが大きい場合 : ドライブピニオンベアリングアジャストワッシャーを薄くする。  
: ドライブピニオンアジャストワッシャーを薄くする。  
: サイドベアリングアジャストシムを厚くする。

プリロードが小さい場合 : ドライブピニオンベアリングアジャストワッシャーを厚くする。  
: ドライブピニオンアジャストワッシャーを厚くする。  
: サイドベアリングアジャストシムを薄くする。

### キャリヤカバー取り付け

1. キャリヤカバーとキャリヤケースの取り付け面ボルト穴内側に液状ガスケット (スリーボンド 1215) を塗る。

**注意:** 古い液状ガスケットをきれいに取り去ること。又油、ゴミ等の付着なきこと。



2. キャリヤカバーをキャリヤケースに取り付ける。

締付トルク : 35.3 ~ 47.1N·m { 3.6 ~ 4.8kg·m }

3. ドレーンプラグ及びフィルタープラグに液状ガスケット (スリーボンド 1215) を塗り、キャリヤケースカバーに取り付ける。

ドレーンプラグ締付トルク : 30 ~ 39N·m { 3 ~ 4kg·m }

フィルタープラグ締付トルク : 30 ~ 39N·m { 3 ~ 4kg·m }

**注意:** ギヤオイル注入は、車両に搭載してから行うこと。又、注入量は「[注入](#)」(FFD-5 ページ) を参照のこと。

## サービスデータ

### サービスデータ ドライブギヤ振れ

PFP:00030

JDS002CM

型式	F160A
ドライブギヤ背面振れ量	0.05mm 以下

### サイドギヤクリアランス調整

JDS002CN

型式	F160A
サイドギヤ背面クリアランス	0.20mm 以下で抵抗なくギヤが回転すること

#### サイドギヤ背面クリアランス調整用スラストワッシャー

	厚さ (mm)	部品番号	厚さ (mm)	部品番号
スラストワッシャー	0.68	38424 W1010	0.86	38424 W1016
	0.71	38424 W1011	0.89	38424 W1017
	0.74	38424 W1012	0.92	38424 W1018
	0.77	38424 W1013	0.95	38424 W1019
	0.80	38424 W1014	0.98	38424 W1020
	0.83	38424 W1015	1.01	38424 W1021

### ドライブピニオンハイト調整

JDS002CO

#### ドライブピニオンハイト調整用アジャストワッシャー

	厚さ (mm)	部品番号	厚さ (mm)	部品番号
アジャストワッシャー	3.09	38154 U1500	3.39	38154 U1510
	3.12	38154 U1501	3.42	38154 U1511
	3.15	38154 U1502	3.45	38154 U1512
	3.18	38154 U1503	3.48	38154 U1513
	3.21	38154 U1504	3.51	38154 U1514
	3.24	38154 U1505	3.54	38154 U1515
	3.27	38154 U1506	3.57	38154 U1516
	3.30	38154 U1507	3.60	38154 U1517
	3.33	38154 U1508	3.63	38154 U1518
	3.36	38154 U1509	3.66	38154 U1519

### サイドベアリングプリロード調整

JDS002CP

#### サイドベアリングプリロード調整用アジャストシム

(サイドリテーナー側)

	厚さ (mm)	部品番号
アジャストシム	0.20	38453 AR000
	0.25	38453 AR001
	0.30	38453 AR002
	0.40	38453 AR003
	0.50	38453 AR004

## サービスデータ

### サイドベアリングプリロード調整用アジャストワッシャー

(デフケース～サイドベアリング間)

	F160A			
	厚さ (mm)	部品番号	厚さ (mm)	部品番号
アジャストワッシャー	0.10	38453 AR010	0.25	38453 AR015
	0.12	38453 AR011	0.30	38453 AR016
	0.15	38453 AR012	0.40	38453 AR017
	0.17	38453 AR013	0.50	38453 AR018
	0.20	38453 AR014	—	—

### トータルプリロード調整

JDS002CQ

トータルプリロード (オイルシール取り付け時)	1.56 ~ 2.65N·m { 0.16 ~ 0.27kg·m }
ドライブギヤバックラッシュ	0.10 ~ 0.15mm

A

B

C

FFD

E

F

G

H

I

J

K

L

